



長寿大学だより

2023年10月号

令和5年10月1日

編集・発行:長寿大学48期生

広報委員会

我孫子を知り、趣味を広げ、新しい仲間を作ろう

長寿大学は今年、創立50周年を迎えました

3年ぶりに大学祭



高村光太郎「智恵子抄」の朗読劇

男性陣の緊張感が伝わります 写っていませんが、舞台右手からは女性陣の美しい歌声が…東京の空～♪

湖北史跡巡り



星野家の庭に今も残る明治30年建築の井戸屋根
宮大工が建てたという立派なもので、当時の豪農ぶりを彷彿とさせます。先生(右端)の説明にも熱が入ります。



日秀観音寺の片隅に立つ首曲地蔵

平将門調伏を祈願した成田山に背を向けて首を曲げた姿と言われていいます。この地域の人々は今でも、成田山に詣でることはないそうです。

共に学ぶ喜び 新しい発見と気づき



我孫子の農業・調理実習

我孫子の農業は昭和50年と比べて農家は72%減、農地は48%減の現状です。きめ細かい「低農薬のエコ農産物」を特徴として官・民一体で地産・消推進店の拡大などに積極的に取り組んでいます。



そこで、“あびベジ”の大炊先生のご指導により我孫子の食材を使った調理実習を行い、美味しいレシピをマスターしました。私たちも積極的に地元野菜を食べて応援しましょう！



始めの一筆が緊張するのです。ほそーい線、柔らかなぼかし、神蔵先生(写真中央)は手直して大忙しのご様子、自分の腕に少々不満の方も、焼き上がりは自分の作品がわからないほどに上出来でした。



初めてのポタリーアート

クラブ活動紹介

長寿大学では学習テーマ以外に沢山のクラブ活動が行われています。今回は四つのクラブ活動を紹介します。

コーラスクラブ



～ 楽しく健康に ～

今年は11名の新メンバーを迎え、日々活気に溢れる練習に取り組んでいます。「和気あいあいに」新人もベテランも息を合わせ歌います。

俳句クラブ「ぬなは句会」



今や俳句ブーム。たった17文字の中に自分の思いを描き季語を入れる、世界一短い詩です。句会は皆の俳句を鑑賞し意見交換する楽しい一時。作品はコホミンのぬなは句会専用掲示板に掲示、皆様に披露しています。

水墨画クラブ

新入部員6名が新たに加わり、活気付いています。学習3回目にして趣のある梅の木を書いたのは新入部員。次回は、鷺が止まっている梅の木にチャレンジです。

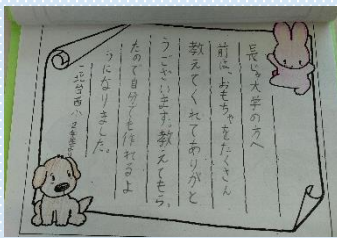


社交ダンスクラブ



社交ダンスは足腰が鍛えられ脳の活性化も期待できます。姿勢が良く写真のように若々しくなります。

48期生学習支援ボランティア



かわいいお礼状

身近な材料を使って動くおもちゃを自分で作る喜びと驚きを湖北台西小学校二年生と一緒に体験しました。今回の学習テーマは「動くおもちゃを作ろう」①ストロー竹とんぼ、②パッチンかえる、③木登りサル、④紙コップロケット 4種類のおもちゃを長大生の説明・見本を手掛かりに興味深々、手作りに挑戦。自分の手で作ったおもちゃが実際に動く目撃を輝かして、いつものゲームとは違う驚きを発見したようです。かわいいお礼のお手紙もいただきました♡



長寿大学について

昭和49年(1974年)に1年制、昭和51年(1976年)から4年制で開設されている我孫子市の公民館学級のひとつ。「つどう場からむすぶ場に」「まなぶからまなびあう」「学習を地域に還元する」という公民館の特性に沿って活動。卒業生は延べ 2000人を超えている。

編集後記

48期生も早3年生、長寿大学だよりの編集を通じて改めて新しい発見と気づきを振り返りました。紙面では一部しかご紹介できませんが、新しい体験とコミュニケーションは思いがけない新しい窓を開いてくれました。今年で創立50周年、積み重ねられた楽しく貴重な学びの魅力が皆様に届くことを願いつつ、私たちの体験に目を留めていただければ幸いです。

詳細はネットで検索

我孫子市長寿大学

検索

48期 (3年生) 広報委員一同